

令和6年度 第3回 ナザレ園ひらのテラス

第1回 ナザレ園定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所
介護・医療連携推進会議 次第

日時 令和6年9月21日(金) 14:00より

場所 ナザレ園ひらのテラス

1、 開 会

2、 議 題

- ① 決算報告(定期巡回)
- ② 事業報告
- ③ 質疑・ご意見
- ④ 次回開催日時について

ひらのテラス 令和6年度第4回 令和6年11月22日(金) 開催予定
定期巡回 第2回 令和7年3月21日(金) 開催予定

3、 閉 会

令和6年度 第3回 ナザレ園ひらのテラス

第1回 ナザレ園定期巡回・随時対応型訪問看護事業所

介護・医療連携推進会議 議事録

9月20日(金) 14:00～ ひらのテラス

参加者 外部委員 6名 (市職員、民生委員、利用者家族、自治会長、ケアマネージャー、
精神保健福祉士)

内部委員 9名 (在宅サービス総括所長、管理者、訪問看護、地域包括、
ケアマネージャー、事務)

1. 開会

2. 議題

(1) ひらのテラス 事業報告 添付資料参照

- ・入所の条件 → 要支援2又は要介護1以上の認知症の方
生活するのが大変になってきた場合はそれにあつた施設(特養等)
- ・訪問看護で週1回定期訪問による体調のチェック等行っているが、持病をかかえている人が多く体調の変化が起きやすい。
- ・浴室等の設備や人員配置の面で、寝たきりの方のケアが難しい。
- ・家族の介護負担が増えていることが要因となりサービスを利用するケースが多くみられる。
- ・入所時は帰宅願望が強い傾向にあつたが、最近ではひらのテラスでの生活に慣れ落ち着いてきている。
- ・近年では核家族化が進んでおり、お年寄りの方と接する機会が少なくなっている
ので一緒に活動できる場が欲しい。 → 自治会で三世代交流を行っている。

(2) 定期巡回事業所 決算報告 添付資料参照

(3) 定期巡回事業所 事業報告書

- ・利用開始、終了の説明では時系列でその人についての流れがわかるように作成してほしい。

(4) 次回開催日時について

- ・ ひらのテラス 令和6年 第4回 11月22日(金) 開催予定
- ・ 定期巡回 令和7年 第2回 3月21日(金) 開催予定

運営推進会議報告書

R6.9.20 (金) 14:00～

T・T様 要介護1 女性 90歳

障害高齢者日常生活自立度 A1 認知症高齢者日常生活自立度 II a

「日常生活のご様子」

7/28に入居となった方です。

同敷地内に長男ご夫婦が住んでおられましたが、長男様夫婦の介護負担が増え入居となりました。

T・T様入居後数日は気分の落ち込みが見られておりましたが、その後は他入居者様と談笑されたり、リハビリ、レクリエーションをされたりしながらご自身のペースで活動的に過ごすことができるようになりました。

食事中や、運動時、夜間などにせき込む様子があり、長男様ご夫婦に経過報告しております。

「今後の課題・取り組み」

1分を超える歩行や、リハビリ時などに息切れやせき込みが見られている為、T・T様の負担にならない程度の活動を続けていきながら、脚力など日常生活動作の維持が図れるよう援助していきます。

H・H様 要介護4 女性 74歳

障害高齢者日常生活自立度 A1 認知症高齢者日常生活自立度 IV

「日常生活のご様子」

5月中旬に怪我をしてしまった頭部はその後、経過良好。8月初旬には内服薬も中止となり、10月の受診で変わりがなければ、経過観察も終了となります。

その後は怪我をしたり、体調を崩さず過ごすことができいております。

「今後の課題・取り組み」

意思疎通の困難さがあり、他利用者様との距離感や関係性に配慮が必要となっておりますが、ご自身で行えている食事動作や持ち前の脚力を活かしながらQOLの向上を目指していきます。

Y・K様 要介護5 男性 73歳

障害高齢者日常生活自立度 A1 認知症高齢者日常生活自立度 IV

「日常生活のご様子」

8/1に入居となった方です。

前頭側頭型認知症により、奥様や同居長男様ご家族の負担が増え、4年ほど小規模多機能型居宅介護の長期泊りをされておりました。

長年利用していた事業所からの転居となった為、奥様の不安も大きかったのですが、入居後時間の経過とともにY・K様も慣れてきた様子あり、そのご様子を知った奥様も安心されております。

「今後の課題・取り組み」

意思疎通の困難さがあり、急な立ち上がり歩行、大声を上げるなどの行動が見られており、他利用者様との距離感や関係性に配慮が必要となっております。他利用者様との関係性に配慮しながら、わずかなY・K様の言葉と行動などからY・K様の思いを汲み取り、尊厳を守りQOLの向上を目指していきます。

M・H様 要介護1 女性 90歳

障害高齢者日常生活自立度 A1 認知症高齢者日常生活自立度 I

「日常生活のご様子」

膝の痛みがありますが、「弱らないように」との思いが強く、歩行運動やリハビリの意識が高く、意欲的、自発的に行動されております。可能な限り、散歩の機会やリハビリ体操、スタジオでの機械運動、レッドコードなどを行う時間を作っております。

長女様や長男様の面会もいただきながら、自治会夏祭りに参加いただいたり外出の機会を作っております。

「今後の課題・取り組み」

M・H様の意欲に我々スタッフも刺激を受けており、M・H様に限らず活動、参加の機会を増やしていきたいと考えております。

Y・K様 要介護2 女性 85歳

障害高齢者日常生活自立度 A1 認知症高齢者日常生活自立度 IIIa

「日常生活のご様子」

夜間、寝るまでの間やトイレに起きた後など一人でいらっしゃる時に、戸締りや火のもとなどを気にされたり、短期記憶の障がいによりこれからどうしてよいか分からなくなってしまうなど、不安や悲しい気持ちになってしまうことがあります。

日中はリビングに参加されることにより他利用者様と談笑されるなど、なによりの気晴らしになっています。

「今後の課題・取り組み」

他利用者様、スタッフとのコミュニケーションや活動、参加の場を作ること、共同生活上での役割を持ちながら自信を持ち過ごせるよう援助していきます。

H・K様 要介護3 女性 93歳

障害高齢者日常生活自立度 A1 認知症高齢者日常生活自立度 IIIa

「日常生活のご様子」

入居前や入居後に膝に水が溜まり、生活のリズムが崩れたり、日常生活動作能力の低下におちいってしまった経過がございます。今のところ、膝の痛みは今以上に悪化することなく過ごせております。一人暮らしであったことから家の心配をされ、これまで帰宅要求がありましたが、最近は減ってきております。

「今後の課題・取り組み」

短期記憶に障害があることから同じ話や、特定の話になりやすく、時に他利用者様が不快に感じてしまうことがあります。リビング席の場所を巡って他利用者様とトラブルになりやすくもなっておりますが、短期記憶の障害を肯定的に捉え、気持ちの切り替えやその場の雰囲気一度リセットしながら、利用者様それぞれが楽しみ、生きがいを持って過ごせるよう援助していきます。

I・S様 要介護1 男性 85歳

障害高齢者日常生活自立度 A1 認知症高齢者日常生活自立度 IV

「日常生活のご様子」

入浴は、その日の状況にもよりますが、湯舟につかることができるようになりました。お通じ周期が長くなっており、先生に相談の上、下剤を使用しながら様子を見ています。

「今後の課題・取り組み」

リハビリや余暇活動への参加に消極的な面がございます。声掛けの仕方などの工夫で参加いただけることもある為、活動、参加の機会を増やし楽しみや役割などを持って過ごしいただけるよう援助していきます。

T・H様 要介護1 女性 85歳

障害高齢者日常生活自立度 B2 認知症高齢者日常生活自立度 IIIa

「日常生活のご様子」

8/6、うっ血性心不全で入院し9/17に退院。6週間の入院により寝たきり、日常生活に介助が必要な状態での退院となりました。

事前に病院からうかがっていた日常生活動作の状況からは特別養護老人ホームでの生活が望ましいのではと感じておりましたが、トイレに掛かる事ができたり、伝い歩き、歩行器での歩行など介助のもとでの動作が可能で、ひらのテラスでの生活リハビリで回復が可能なのではないかと考えております。

「今後の課題・取り組み」

病状の経過を観察していくとともに、T・H様の失った生活能力を取り戻すための生活リハビリを行い、自信を取り戻せるように援助していきます。

S・Y様 要介護3 男性 83歳

S・Y様ですが8/30退居となりました。

7月下旬に熱を出した事がきっかけで、臥床時間多くなり脚力低下。食事、水分も摂れなくなり、食事も詰まりかけてしまった事から8/11入院。

ご家族より、寝たきりで食事も少量しか食べられなく、ひらのテラスに戻ることが難しいとの連絡をいただき退居となりました。

年齢別 利用者数

	計
～65歳未満	0
65歳以上～70歳未満	0
70歳以上～75歳未満	2
75歳以上～80歳未満	0
80歳以上～85歳未満	0
85歳以上～90歳未満	3
90歳以上～95歳未満	3
95歳以上～100歳未満	0
100歳以上	0
合計	8

【平均年齢】

	平均
【平均年齢】	84

【最少年齢】

	最小
【最少年齢】	73

【最高年齢】

	最大
【最高年齢】	93

要介護状態区分別 利用者数

	計
要支援1	0
要支援2	0
要介護1	3
要介護2	1
要介護3	1
要介護4	2
要介護5	1
その他	0
(未入力)	0
合計	8

入居期間【入退居履歴】

	計
～半年未満	8
半年以上～1年未満	0
1年以上～2年未満	0
2年以上～3年未満	0
3年以上～4年未満	0
4年以上～5年未満	0
5年以上～10年未満	0
10年以上	0
合計	8

入居(院)前状況【入退居履歴】

	計
-	0
居宅	7
医療機関	1
介護老人福祉施設	0
介護老人保健施設	0
介護療養型医療施設	0
認知症対応型共同生活介護	0
特定施設入居者生活介護	0
その他	0
介護医療院	0
合計	8

ナザレ園ひらのテラス

年齢別 要介護状態区分別 利用者数

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	(未入力)	計
～65歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65歳以上～70歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70歳以上～75歳未満	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
75歳以上～80歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳以上～85歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85歳以上～90歳未満	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
90歳以上～95歳未満	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
95歳以上～100歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	3	1	1	2	1	0	0	8

ユニット別 要介護状態区分別 利用者数

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	(未入力)	計
ユニット1	0	0	3	1	1	2	1	0	0	8

生活保護

	計
生活保護	0

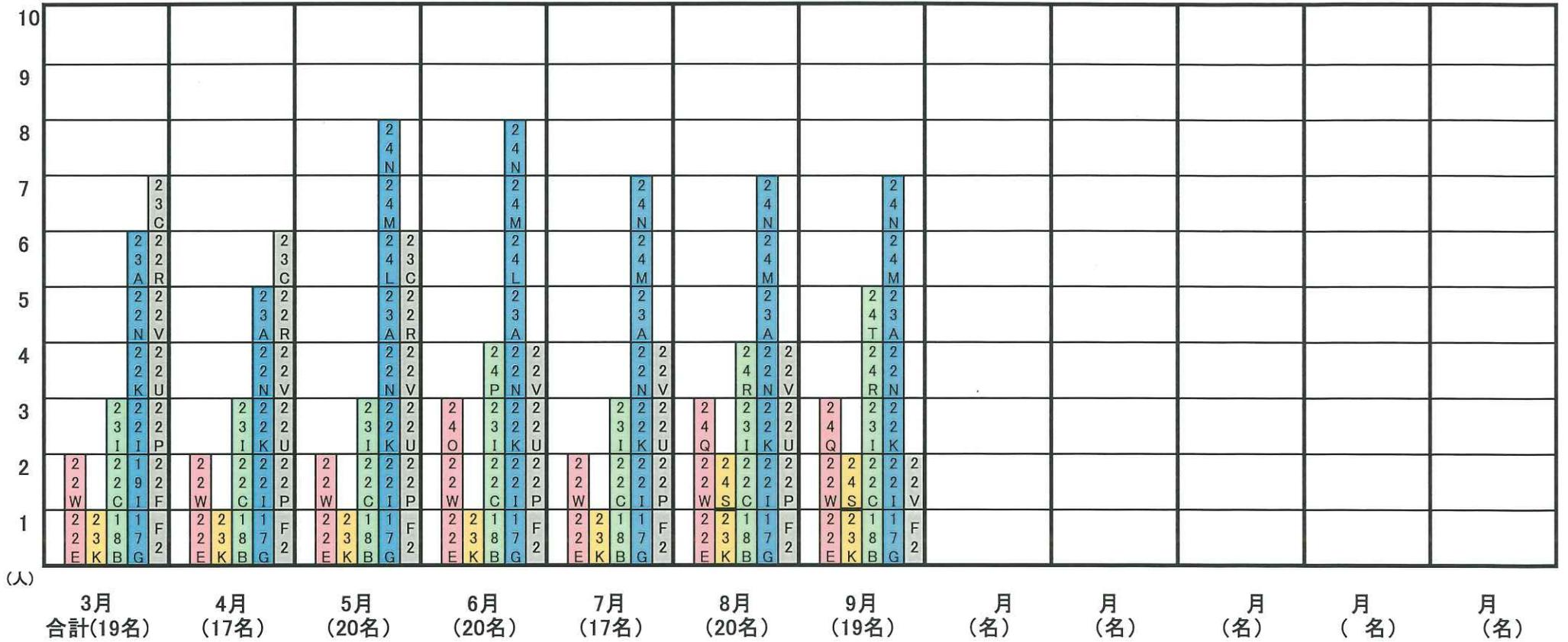
令和5年度 事業活動明細書

ナザレ園定期巡回・随時対応型
訪問介護看護事業所

勘定科目		金額
収益	介護報酬収益	58,378,127
	利用者負担金	7,159,277
	収益計(1)	65,537,404
費用	人件費	37,792,884
	事業費	1,353,788
	事務費	4,402,454
	減価償却費	740,579
	費用計(2)	44,289,705
經常増減差額(3) = (1) - (2)		21,247,699

令和6年度 介護度別・月別利用人数

ナザレ園定期巡回・随時対応型
訪問介護看護事業所



(人)

要介護1
 要介護2
 要介護3
 要介護4
 要介護5

【当法人内での利用者数】 令和6年9月現在

ナザレ園定期巡回・随時対応型
訪問介護看護事業所

- ナザレ園居宅介護支援事業所からの利用者⇒14名
- 他居宅介護事業所からの利用者⇒7名
- ナザレ園養護老人ホームの利用者⇒10名
- 盲老人ホームの利用者⇒4名

右図の説明

【年度別定期巡回利用者人数】

体調不良から発熱される方が多く見られました。入院・退院を繰り返す方もおりました。

	2014~2019	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
新規利用者数	82名	22名	23名	23名	11名	9名
前年の継続者	5名	12名	12名	8名	19名	15名

施設利用者様においては施設内利用者様、コロナ感染がありデイサービス

スをお休みされる期間がありました。訪問を追加し対応させて頂きました。要介護度が高い利用者様においては特養入所の順番が来た事により入所される方が数名おりました。今後も利用者様の生活を維持サポートさせて頂きたいと思っております

職員労災事故報告

R6年8月2日	訪問終了後ヘルパー退室する際、玄関を出たところをつまずいてしまいました。左手を地面につき骨接していました。
	対応：直ぐに事務所へ戻って頂き小野瀬医院受診して頂く。（病名：左橈骨遠位端骨折）
	ギプスシーネ固定を行っている。超音波治療を行っている。休養が必要である。（全治3ヶ月）